

横田基地の空兵、インド空軍との共同訓練「コープ・インディア2023」に参加 YOKOTA AB AIRMEN JOIN COPE INDIA 2023 EXERCISE WITH INDIAN AIR FORCE

May 4, 2023

374th Airlift Wing Public Affairs

チーム横田は4月10日から21日までの期間、インド・アルヤン・シン空軍基地で行われた太平洋空軍主催のインド空軍との共同訓練「コープ・インディア2023」に、空兵69人とC-130Jスーパーハーキュリーズ2機を派遣した。

第374空輸航空団のメンバーはインドに赴き、インド太平洋地域の基地から集まった空兵250人以上と航空機10機で構成するチームに加わった。太平洋空軍主催のこの11日間の訓練は、インド空軍と共同で行われ、作戦遂行に必要な技術の向上、関係強化、そして知識の共有に重点が置かれた。

第36遠征空輸中隊司令および今回演習が行われた3つの基地のうちの1つアルジャンシン空軍基地「コープ・インディア2023」派遣機動部隊司令のキラ・コフィー中佐は、「共同訓練し、ベストプラクティスを共有することで、円滑な連携体制を強化できる」と語り、「自由で開かれたインド太平洋地域を維持するために、パートナーとしていかに協働し達成できるかを試すものであり、我々の共通の決意を示すものだ」と述べた。

横田基地第374空輸航空団の運用群、整備群、使命支援群の隊員は、インド空軍と協力し、低コスト低高度の空中投下に必要な演練のほか、飛行機のフィールド整備や飛行場警備訓練等を行った。

さらに、インド空軍のカウンターパートと航空優勢作戦を行い、部隊間の連携を高めるとともに、編隊飛行や低空飛行、短距離着陸作戦、人員降下、低コスト低高度空中投下、大量コンテナ空中投下におけるベストプラクティスを共有した。

第36空輸中隊C-130J教官パイロットで「コープ・インディア2023」第36遠征空輸中隊任務司令を務めるジョゼリン・マスキル少佐は、「コープ・インディアはとても有益な機会であり、参加できたことを光栄に思う」と述べ、「インド空軍のパートナーと戦闘態勢を強化するための技術を共有し、さまざまな飛行作戦を演習した。ミッションの計画からインド空軍のC-130Jとの編隊空中投下等の戦術飛行まで、一丸となって取り組んだ」と訓練を振り返った。

パートナーシップを通じて総力が強化され、横田の参加者は「コープ・インディア2023」の最たるものが“共同部隊の対処能力”であることを実感した。

2004年に始まった「コープ・インディア」は、専門官の交流、航空機動訓練、空中投下訓練、大部隊演習等を取り入れながら発展を遂げている。

